

第83回 1級販売士 検定試験要項

主催／日本商工会議所・米沢商工会議所 後援／経済産業省・中小企業庁

1. 試験日 平成31年2月20日(水)9:30～
※ 受験時間を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則として受験できません。
2. 試験場 米沢商工会議所
3. 申込期日 平成30年12月17日(月)～平成31年1月25日(金)
※ 受付事務は、土日祝祭日を除く、平日の午前8時40分～午後5時30分まで。
4. 受験資格 学歴、年齢、性別、国籍などに制限はありません。
5. 試験の程度 大規模小売店舗の店長や部長、中小小売業の経営者などが対象。小売業経営に関する高度な知識を身に付け、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や、財務予測、部下の悩みの解消など、経営管理について適切な判断ができる。(大手の小売業では、店長昇格のための条件にしているところもある。)
6. 受験料 7,710円
7. 受験申込手続 当所所定の申込書に必要事項を記入(本人自筆)の上、受験料を添えて、申込期間内に米沢商工会議所において申込み手続きを取ってください。
(郵送可、受験票の返信用封筒<返送先の住所・氏名記入、82円切手貼付>を同封願います。申込期日必着) ※顔写真添付の必要はありません。
※一部科目合格者は、「科目別合格証明書」を提出してください。
※ 受理した申込書類及び受験料は、試験施行の中止などの事情がある場合のほかは返還しません。
8. 合格基準 筆記試験については、試験科目ごとに100点満点で採点し、面接試験については、合否により判定する。筆記試験の得点が平均して70点以上であり、面接試験で合格と判定された者であって、中央機関に設置した中央検定試験委員会が適当と認めたものを合格者とします。ただし、筆記試験について、50点に満たない科目がある場合は、不合格とします。
9. 合格発表 中央審査のため、試験から約1か月半後に発表予定。
(結果がわかり次第、本人宛に通知します)
※ 合格証書と認定証(カード)は、ハガキにより通知の上交付します。
10. 合格の取扱い 合格者として認定を受けた方(以下「販売士」という)には、認定証(カード型)及び合格証書を交付します。なお、希望者には、有料で合格章(バッジ¥1,420)を交付します。
※ 資格の有効期間は5年とします。ただし、認定を受けた者が販売士としてふさわしくないと認められるときは、認定を取り消すことがあります。
11. 不正行為等 正当な理由なしに、試験場において試験委員の指示に従わない者、又は試験に関して不正行為を行った者は、試験場から退場していただくことがあります。なお、合格判定後、試験に関する不正行為等が発覚したときは、

その合格を取り消します。

12. 試験の内容

試験は、筆記試験(「小売業の類型」「マーチャダイジング」「ストアオペレーション」「マーケティング」「販売・経営管理」)を行います。

科目	内容	制限時間
小売業の類型	1. 流通システムの変革と小売業の新たな役割 2. フランチャイズシステムの戦略的特性 3. 店舗形態別小売業の戦略的特性 4. チェーンストアの戦略概論 5. 商店街およびショッピングセンターの戦略的特性	40分 40分 120分
マーチャダイジング	1. マーチャダイジング戦略の概論 2. 商品計画の策定と商品予算の実務 3. 販売計画ならびに販売管理の戦略的策定 4. 仕入計画と在庫管理の実務 5. 戦略的商品管理の実務 6. 物流システムの実務	
ストアオペレーション	1. 店舗運営サイクルの戦略的展開 2. スペースマネジメントの戦略的展開 発注の戦略的展開 3. LSP (レイバースケジュールリングプログラム) の戦略的展開 4. ローコストオペレーションの戦略的展開 5. 人的販売と販売員指導の実務	40分
休 憩		
マーケティング	1. 小売業のマイクロマーケティング戦略の実践 2. 小売業のマーケティングの種類と特徴 3. ライフスタイルの変化とマーケティング戦略の展開方法 4. 顧客戦略の実務 5. マーケティングリサーチの実務 6. 出店戦略と商圈分析の実務 7. 販売促進とプライシングの戦略的展開	40分 80分
販売・経営管理	1. 小売業の管理組織の特徴 2. 小売業の従業員管理と能力開発 3. 小売業の戦略的キャッシュフロー経営 4. 小売業の店舗に関する法律 5. 小売業のリスクマネジメント	40分

13. 試験の一部免除

前回(第81回)あるいは前々回(第79回)の販売士検定試験(1級)で、科目合格した方は、今回(第83回)の試験で、その科目を免除します。なお、受験を希望する者は、経過措置によって免除となった科目を受験しても差し支えありませんが、この場合、当該免除科目に対する免除規定は適用されません。

14. 資格の更新

当該級の資格を取得した日から起算して5年目の年度に当たる者であつ

て、資格更新を希望する者は、別に定める資格更新講習会又は資格更新通信教育講座を修了すること等によって、資格の有効期間を更新することができます。なお、認定証（カード）は、合格後5年を経て資格の有効期間を更新する際に必要となりますので、大切に保管してください。

15. 学習の参考書 販売士検定試験1級ハンドブック

販売士ハンドブックに関するお問い合わせは・お申し込みは
㈱キャリアック
URL : <http://www.curreac.co.jp/>

16. 受験上の注意

① 受験するときに持参するもの

- (1) 受験票
- (2) 黒鉛筆（硬度はHB又はB）及び消しゴム
- (3) そろばん・電卓等の計算用具
- (4) 原則として氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）
★ 身分証明書をお持ちでない方は、ご相談ください。

② 試験場での注意

- (1) 受験票の番号と同じ番号の席に着いてください。
- (2) すべて試験委員の指示に従ってください。指示に従わない者あるいは不正行為を行った者は、退場させることがあります。
- (3) 試験中は勝手な発言をしないでください。質問があるときは、試験開始前に手を挙げて試験委員に申し出てください。試験開始後の質問には応じません。
- (4) 試験開始から30分間経過しないと退席は認めません。また、終了10分前から退席は認めません。

③ 解答記入上の注意

- (1) 客観式問題の注意事項（次の注意に反したときは、無効とします）
 - ア) マークシート（答案用紙）には、受験番号、生年月日、職業分類の各欄に、記入・マーク漏れがないように、必ず記入するとともに、該当する番号をマークしてください。
 - イ) マークシート（答案用紙）にマークする際は、HB又はBの硬度の鉛筆で所定の欄をはっきりと塗りつぶしてください。（HB又はB以外の硬さの鉛筆、ボールペン、万年筆等の筆記用具を使用した場合は、無効となります。）
 - ウ) 答を書き直す場合は、訂正する答を消し残しのないよう消しゴムで消して、答をマークし直してください。
 - エ) 一つの設問について、答をすべて同一記号（数字）の選択をした場合は、無効とします。（例/すべて1あるいは2、または1・2・3……などと順に選択した場合）
 - オ) 同一の問題について複数の答を選択した場合は、無効となります。
 - カ) 免除科目のある方は、免除科目には解答しないでください。免除科目を解答した場合は、採点対象となり、その科目の免除措置は適用されませんので注意してください。

④ 認定証等の取扱いについて

- (1) 認定証等は、合格後5年を経て資格の有効期限を更新する際に必要となりますので大切に保管してください。
- (2) 平成29年度より資格の更新方法が変更になりました。検定を合格された方は日商HPから販売士専用サイトにアクセスし、各自手続きをおこなってください。
- (3) 合格証書を紛失又は破損した場合は、再発行しません。その場合は、希望により有料（1,100円）で合格証明書を発給しますので、申し出てください。

お問い合わせは…

米沢商工会議所 総務企画部

〒992-0045 米沢市中央4丁目1-30

TEL/0238-21-5111 FAX/0238-21-5116